

CanCanミーティング ～看護がつなぐ地域包括ケア～

最期のときまで住み慣れた地域で暮らし続けるための支援を行うには、その人の地域での暮らしぶりや思いに寄り添うことが必要です。

入院そして医療選択の場面はその人の人生の大きな岐路となりますが、様々な場所で働くナースが連携することは、その人の思いをつなぎ、安心して暮らし続けることが叶う手立てになることでしょう。

本会は、事例検討を通し、組織や職場を越えて看護の役割について相互理解を深め、共に考え実践できる力を養うことを目指すものです。

※燕三条会場では高齢のがん患者における地域包括ケア病棟の退院事例、新潟会場では複合的な疾病を持つ患者における回復期病床からの退院事例を扱います。

燕三条
会場

平成30年2月13日（火）17時00分～20時00分
燕三条地場産業振興センター・リサーチコア
マルチメディアホール（三条市須頃1丁目20番地）

新潟
会場

平成30年2月14日（水）13時30分～16時30分
新潟市東区プラザ ホール（新潟市東区下木戸1丁目4-1）



講師：在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス
宇都宮 宏子（うつのみや ひろこ）先生

【講師略歴】

1959年福井出身、1980年 京都大学医療技術短期大学部 看護学科卒業
医療機関で看護師として勤務、高松の病院で訪問看護を経験し在宅ケアの世界に入る。

1992年、京都の訪問看護ステーションで勤務、介護保険制度創設時、ケアマネジャー・在宅サービスの管理・指導の立場で働きながら、病院から在宅に向けた専門的な介入の必要性を感じ、2002年、京大病院で「退院調整看護師」として活動。

2012年4月より、『在宅ケア移行支援研究所』を起業し、医療機関の在宅移行支援、地域の医療介護連携推進、在宅医療推進事業研修・コンサルテーションを中心に活動。

- ◆申込み 2月5日（月）までに、別紙「参加申込書」にて、新潟市地域医療推進課あてFAX又はメールで受付（新潟近郊の方も燕三条会場へ、燕三条近郊の方も新潟会場への参加も可能です。）
- ◆定員 各会場100名（**先着順**）
- ◆対象 新潟市、燕市、弥彦村、三条市又は近隣市町村の医療・介護関係機関に従事する看護職（病院・訪問看護ステーション・介護施設・地域包括支援センター・行政機関等）

- 主催 新潟市、燕・弥彦医療介護センター
- 後援 新潟県、新潟県看護協会

<お申し込み先>

FAX送信先:025-246-5672

メール送信先:chiiki.iry@city.niigata.lg.jp

新潟市保健衛生部地域医療推進課

(TEL:025-212-8018)

CanCanミーティング 参加申込書

(燕三条会場:2月13日(火)17:00~/新潟会場:2月14日(水)13:30~)

お申込み所属 :

ご連絡先(名前・電話番号) :

※ 参加会場どちらかに○をつけてください。

燕三条会場 ・ 新潟会場

No.	職 位	参加者氏名
1		
2		
3		
4		

※平成30年2月5日(月)までにFAX又はメールにてお申込みください。

<会場アクセス>

燕三条会場:2/13(火)17時00分~20時00分
燕三条地場産業振興センター・リサーチコア
(三条市須頃1丁目20番地)



新潟会場:2/14(水)13時30分~16時30分
新潟市東区プラザ
(新潟市東区下木戸1丁目4-1)



※駐車場につきましては、数に限りがございますので、ご利用の場合は余裕を持ってご来場ください。